

**製品名:** FDPS マウスモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMM86092

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:4000
分子量	48.3kDa

## 抗原情報

遺伝子名	FDPS Farnesyl pyrophosphate synthase, FPP synthase, FPS, 2.5.1.10, (2E,6E)-farnesyl diphosphate synthase, Dimethylallyltranstransferase, 2.5.1.1, Farnesyl diphosphate synthase, Geranyltranstransferase, FDPS, FPS, KIAA1293
別名	
遺伝子 ID	2224.0
SwissProt ID	P14324
免疫原	この FDPS 抗体は、ヒト FDPS の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

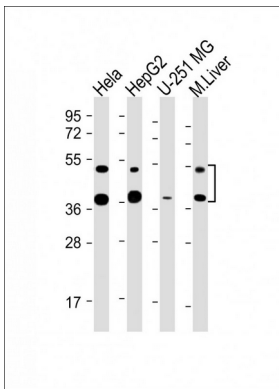
## 背景

イソプレノイド生合成における重要な酵素であり、ステロール、ドリコール、カロテノイド、ユビキノンなど、いくつかの必須代謝物の前駆体であるファルネシルピロリン酸 (FPP) の生成を触媒します。FPP は、タンパク質のファルネシル化およびゲラニルゲラニルの基質としても機能します。イソペンテニルピロリン酸とアリルピロリン酸、ジメチルアリルピロリン酸、そして得られたゲラニルピロリン酸との順次縮合を触媒し、最終生成物であるファルネシルピロリン酸を生成します。

## 研究分野

-

## 画像データ



全レーン：抗 FDPS 抗体 (中央) 1:2000-1:4000 希釈